

令和3年度 学校評価報告書 (目標設定)・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
			具体的な方策	評価の観点
教育課程・学習指導	<p>①生徒の学習意欲を高め、進路実現を図るセメスター制の教育課程編成と組織的な授業改善に取り組む。</p> <p>②課題研究等を見直し、課題解決力や表現力を高める探究活動の充実を図る。</p>	<p>①年次進行型セメスター制をもとに、新学習指導要領移行期に向けた基盤作りに取り組む。「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、組織的な授業改善をICTを活用し推進する。</p> <p>②課題研究等の内容・形式等を改善し、生徒の課題設定力、課題解決力やプレゼンテーション能力を向上させる。</p>	<p>①1)年次進行型セメスター制教育課程編成に係る履修指導の改善を行う。新学習指導要領実施に向けた移行案を策定し、課題を検証した上でより適切な移行計画を立てる。</p> <p>①2)教科・系列等との連携のもと、教科の枠を越えたチームを編成する。これを中心にICTを活用した「主体的・対話的で深い学び」に資する授業、コロナ禍に対応するオンライン授業の研究を進め、成果を共有し実践する。</p> <p>②課題研究等、多くの場面でICTを活用させ、課題設定力・課題解決力やプレゼンテーション能力等を高め、探究活動の充実を図る。</p>	<p>①1)多様な進路希望の実現につながる年次進行型セメスター制教育課程を編成し、効果的に運用することができたか。新学習指導要領の円滑な実施に向け、効果的な移行計画を立てることができたか。</p> <p>①2)組織的にICTを活用したコロナ禍にも対応する授業改善に取り組み、実践することができたか。 (ICT活用状況、校内研修や研究授業、研究協議の開催数)</p> <p>②課題研究等の取組や発表の場で効果的にICTを活用し、総合学科高校の取組がより充実させることができたか。</p>
生徒指導・支援	<p>①部活動を活性化させ、生徒の責任感や協働力の涵養を図る。</p> <p>②専門家と連携し、生徒の社会的自立を促す、きめ細やかな生徒指導・支援の充実を図る。</p>	<p>①生徒の主体性を重視し、部活動・委員会活動を活性化させ、生徒の責任感や協働力を涵養する。</p> <p>②スクールカウンセラー(SC)・スクールソーシャルワーカー(SSW)等と連携した組織的な教育相談体制を活用し、一人ひとりの生徒に応じた支援の充実を図る。</p>	<p>①部活動紹介や体験入部等のプログラム、入学希望者への広報活動等を工夫する。部活動・委員会を活用した学校行事の運営、地域活動への参加等、部活動生徒が活躍できる機会を増やす。</p> <p>②教育相談コーディネーター、SC・SSWとの情報交換を密にする。生徒の情報共有し、コア会議・ケース会議を活用し、個に応じた組織的な支援を行う。</p>	<p>①部活動への入部率、定着率を高めることができたか。入学希望者への広報活動等を工夫することができたか。部活動生徒が活躍できる機会を増やすことができたか。</p> <p>②教育相談コーディネーターとSC・SSWと定期的に情報交換することができたか。コア会議・ケース会議を活用し、組織的に具体的な支援をすることができたか。</p>
進路指導・支援	<p>生徒が主体的に進路を考え、実現に向けて必要な能力や態度を育む指導・支援の充実を図る。</p>	<p>生徒が主体的に進路選択できるよう、総合学科としてのガイダンス機能を充実させる。外部教育力を活用し、教員の指導力向上を図る。また、キャリア教育の一環として生徒の規範意識を向上させる。</p>	<p>1) 産業社会と人間の企画・運営について工夫・改善し、授業を充実させる。就業体験活動・校外学習等の活用を促し、学校外での学びの機会を増やす。</p> <p>2) 外部テストの分析・活用のための外部講師による研修会等、教員向け研修会を設定し、教員の指導力を向上させる。</p> <p>3) 校内・校外を問わずルール・マナーを守ることの大切さを様々な場面で指導する。</p>	<p>1)「産業社会と人間」の授業を工夫・改善し、充実させることができたか。校外での学びの機会を増やすことができたか。</p> <p>2) 教員向け研修会を設定することができたか。その成果を生徒との面談等で生かし、進路選択を支援することができたか。</p> <p>3) 生徒の規範意識は高まったか。</p>
地域等との協働	<p>地域との交流や協働を深め、信頼され開かれた学校づくりを推進する。</p>	<p>学校運営協議会を円滑に運営し、地域や保護者等との交流や協働を深め、信頼される開かれた学校づくりを推進する。また学校の魅力と特色を積極的に発信する。</p>	<p>1) 学校運営協議会の取組を活用し、部活動や委員会の生徒を地域行事やボランティア活動へ参加させ、生徒の活動を充実させる。(長後地区商店街・小学校・福祉施設訪問、防災訓練への参加等)</p> <p>2) 学校の魅力や特色をホームページ等で定期的に発信する。</p>	<p>1) 学校運営協議会を円滑に運営することができたか。部活動・委員会ごとに地域行事やボランティア活動に参加する生徒が増え、生徒の活動が充実したか。</p> <p>2) ホームページを定期的に更新することができたか。(月3回以上の更新)</p>

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
			具体的な方策	評価の観点
学校管理・学校運営	<p>職員の教育力や事故・不祥事防止に係る取組を効果的に実施し、協働意欲と組織力の向上を図る。</p> <p>働き方改革を推進するための職員の意識改革を図る。</p>	<p>①生徒の安全・安心を確保するため、新型コロナウイルス感染症拡大防止に取り組む。</p> <p>②総合学科高校としての教育資源を活用し、「人権教育研究指定校事業」に係る研究を組織的に推進する。</p> <p>③在県外国人特別募集の実施校となることを受け、校内準備を進める。</p> <p>④災害時の安全対策の充実を図り、生徒の防災意識を高める。</p> <p>⑤職員研修を工夫・充実させ、事故・不祥事防止に取り組む。また職員の資質を向上させ、組織力を高める。</p> <p>⑥職員一人ひとりが働き方改革に取り組む。</p>	<p>①県の通知等を踏まえ感染防止対策を十分に取った上で、授業や部活動等の教育活動を実施する。</p> <p>②人権教育研究WG（仮称）を立ち上げ、計画的・組織的に研究を推進する。</p> <p>③特別募集枠で入学する生徒の受入れ体制を整備する。</p> <p>④学校と地域が連携した防災訓練やD I G研修を実施し、防災教育の充実を進める。</p> <p>⑤事故・不祥事防止、職員の資質向上に向け、職員研修の充実、計画的な実施を行う。</p> <p>⑥「勤務時間管理システム」の活用により、勤務時間の見える化を図り、職員一人ひとりが働き方改革を進める。</p>	<p>①感染防止対策を徹底することができたか。</p> <p>②生徒・職員の人権意識は高まったか。（アンケート）</p> <p>③特別募集枠で入学する生徒の受入れ体制を整備することができたか。</p> <p>④年2回以上の避難訓練や地域と連携した防災訓練等を実施し、職員や生徒の防災意識は高まったか。</p> <p>⑤職員の事故・不祥事を未然防止することができたか。点検シート等を活用し職員の資質向上が図られたか。</p> <p>⑥職員の長時間勤務は改善したか。職員一人ひとりの働き方改革が進んだか。</p>